

新成長戦略「アジア経済戦略」

アジアの所得倍増を通じた成長機会の拡大

クール・ジャパンの発信, 輸出,
海外展開施策の実施 (2億円)

●在外公館による情報発信

(派遣講師によるセミナー, 紹介イベント等)

→ 在外公館のメリットを最大限活用して, 日本ブランドの海外(アジア諸国)への展開を支援

- ・デザイン, ファッション
- ・メディア芸術
- ・音楽(J-Pop等)
- ・食 等

例: 大使公邸でのファッションに関するセミナー+展示会

- ・日本政府を代表する信用力
- ・在外公館の施設・人脈の活用
- ・広報事業と日本企業支援の連携
- ・要人往来の機会の活用

●大型国際イベントと連携した「クール・ジャパン・キャンペーン」

→ 大型国際イベントにて, 国際交流基金のノウハウを活かし, 伝統文化からポップカルチャーまで日本の魅力を総合的に紹介(展覧会, 公演, 映画上映, 体験型イベントを組み合わせる等)

例: 「ジャパン・タイム・トリップ」

(マンガ・アニメ作品の時代設定となることが多い江戸時代と現代の対比, 海外の文化芸術に与えた影響等をテーマに映像・造形美術・パフォーマンス・体験コーナー等を立体的に組み合わせて, 来場者に紹介。)

ヒト・モノ・カネの流れ倍増

アジア諸国などにおける
日本語教育拡充 (10億円)

目標: 10年後までに海外30か所で基金
海外日本語講座, 年間受講者3万人

- 日本語は日本の文化・社会・政治・経済の理解への入口
- 日本語能力を持つ優秀な現地人材の大幅増加につながる
 - 初級から上級まで, 一貫して質の高い授業
 - ・国際交流基金の強みを活かし, 日本文化紹介と関連づけ
 - ・国際交流基金が開発・蓄積した教材・メソッドを利用
 - ・日本語能力試験と連動

相乗効果

●海外日本語講座の展開・運営

- ・既存拠点を活用した講座の拡充・新設 (6か所程度)
- ・新規講座の開設 (6か所程度)
 - ※インドネシア及びフィリピンにおいては, 相手国政府と協力して, EPAに基づく看護師・介護福祉士候補者に対する訪日前の現地日本語講座を優先的に実施

●海外日本語講座 現地教師訪日研修

→ 日本語国際センターでの教師養成研修を実施